

泉大津市地域交流ゾーン等活用促進支援業務委託公募型プロポーザル審査基準

第1次審査（事務局算定項目）

算定項目／【関連書類】	算定基準	配点	5自治体	4自治体	3自治体	2自治体	1自治体
業務実績／【契約実績書】	過去5年以内の国や地方自治体における、生涯学習・社会教育関連(施設含む)の計画等の受託実績、または、本支援業務の類似業務の受託実績数※ ※類似業務の定義…教育施設の整備や再編統合に伴う、学校施設や社会教育施設、またその他の施設への地域住民の活動場所の移行や利活用促進に関連する業務	20	20	16	10	6	0
見積金額／【見積書】	配点×(全企画提案者中最低見積金額) / (当該企画提案者見積金額) ※小数点第一位を四捨五入	10	先の式に基づいて計算				
		①小計	30				

第2次審査（選定委員審査項目）

審査項目	審査基準	配点	優れている	やや優れている	中程度	やや劣る	劣る
企画・技術提案に関する項目	○業務目的、業務内容の理解 ・業務の趣旨を的確に理解し、仕様書で定めた業務内容を十分に踏まえた提案となっているか。 ・本市が目指す教育の姿や、本業務実施にいたるまでの背景及び業務の目的に沿った提案となっているか。	40	40	32	20	12	0
	○関連計画等の分析や調査に基づいた企画提案 ・「泉大津市公共施設適正配置基本計画」及び「泉大津市教育施設再編計画」の趣旨や記載事項を理解した提案となっているか。 ・教育に関わる国・府の動向、他自治体の先進事例等の調査、情報収集による分析に基づいた事業進行が可能か。 ・モデル事業の実施やフォーラム等の開催などについて、本業務の目標達成や課題解決に向けて、具体的かつ有効的な業務内容または手法の提案がなされているか。	70	70	56	35	21	0
事業者に関する項目	○事業の作業工程や実施体制、事業に対する意欲・説得力 ・スケジュール及び作業工程が具体的に設定され、実現性・妥当性のある提案となっているか。 ・本業務を迅速に遂行し得る体制、人員配置を整えているか。また、担当者の生涯学習・社会教育に関する事業や計画への経験及び実績は十分か。 ・説明に説得力があるか。また、業務遂行に対する意欲が感じられるか。	60	60	48	30	18	0
		②小計	170				
		①+②=合計	200				

【配点及び評価】

第1次審査 30点（事務局算定30点）

第2次審査 170点（選定委員審査170点）

第1次審査及び第2次審査の合計200点×6委員＝1,200点で評価を行う。